令和6年2月20日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立西山小学校

校長 本間知子

<p>事業テーマ</p>	<p>自己肯定感を育む SST・SGE を生かした授業改善 ～児童が安心して学べる学校をめざして～</p>
<p>取組の目的</p>	<p>本校の教育活動の特色として、教科教育に特別支援教育の視点を取り入れた「授業のユニバーサルデザイン化」（以下、授業のUD化）と、良好な人間関係を育むための「SST・SGE」の実践が2本の柱としてあげられる。</p> <p>「授業のUD化」については、「目の前の子どもの特性を理解した授業づくり」と「教科の見方・考え方をよく理解した授業づくり」を目標に、特別な支援を必要とする児童を含む、通常学級の児童全員が「わかる・できる」ように、授業改善に取り組んでいる。</p> <p>「SST・SGE」の取組では、全校体制で「にこにこタイム」を実施して今年度で8年目を迎えた。継続した取組により、全校として児童が落ち着いた学校生活を過ごすことができている。また、児童同士の人間関係もとても良い関係を築くことができている。</p> <p>そこで令和5年度も「自己肯定感を育む SST・SGE を生かした授業改善～児童が安心して学べる学校づくり～」をテーマとし、「授業のUD化」と「SST・SGE」を関連付けて実践した。</p> <p>1つ目に「SST・SGE」で育んだ人間関係を土台にUD化された授業実践をすることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、全ての児童が安心して学べる学校となるように尽力した。</p> <p>2つ目に「SST・SGE」や「授業のUD化」について、講師を招いた校内研修を充実させた。指導方法や指導理念を全体で確認することで、全教職員の共通理解のもとで指導することができた。</p>
<p>区分 (○印を付ける)</p>	<p>新規事業・継続事業（総事業年数3年間、3年目）</p>
<p>継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容</p>	<p>教員の授業力向上を目指し、本年度新たな講師の先生をお招きしての研修会を行った。それにより、教員一人一人が日頃の授業を見直し、子どもが主体となる授業づくりにつなげることができた。</p>

事業名	事業内容	実施時期
にこにこタイム	○木曜朝の業前に、全校体制で SST・SGE を実施	通年
研究授業	○授業力向上のため「誰もがわかる授業」づくりを検討し、研究協議を推進	通年
ぐんぐんタイム	○火曜朝の業前に、学習等の補充	通年
先進校視察	○学校公開、研究発表等の視察	通年
学力パワーアップ週間	○基礎基本の定着のための取組	通年
Q-Uテスト(5月・10月)	○楽しい学校生活を送るためのアンケート	年2回
SST・SGE 研修会①	○にこにこタイムの検討および講演(外部講師)	5月
授業力向上研修会①	○研究授業および講演(外部講師)	6月
授業力向上研修会②	○師範授業および講演(外部講師)	9月
ドリームマップ	○自己肯定感を高め、自己理解と他者理解を促進し、多様な価値観を肯定し合える関係の構築。	1月
自主研究発表会	○にこにこタイムについての研究発表および講演(外部講師)	2月
取組の成果 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの「にこにこタイム」の取組を成果としてまとめることができた。2023年7月に曾山先生が出版された本で西山小学校の取組を紹介することができた。また、令和6年2月には自主研究発表会として、にこにこタイムの取組を公開・実践発表を行うと、愛知県や県外からも多くの参加があった。今後もこれまで以上に SST・SGE 推進校としての役割を果たしていきたい。 ・Q-Uテストでは、多くの学年で学級生活満足度が全国平均を大きく上回る結果となった。 ・教員の指導力・授業力向上を目指し新たな外部講師の方をお招きし、研修会を行ったことで、日頃の授業を見直すとともに、研修会で学んだことをすぐさま取り入れる教員の姿があった。 		
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一実践でお互いの授業を見合う機会を増やせたのは良かったが、タブレット上で交流するのみで、研究協議をする時間を設けなかったために、全体で確認することや深めることができなかった。どのような視点でどのように考えたのか、研究協議の場を設け、話し合うことで深めていきたい。 ・「にこにこタイム」の取組について、今後も継続的に行っていくための組織体制を構築していくことが必要である。 		